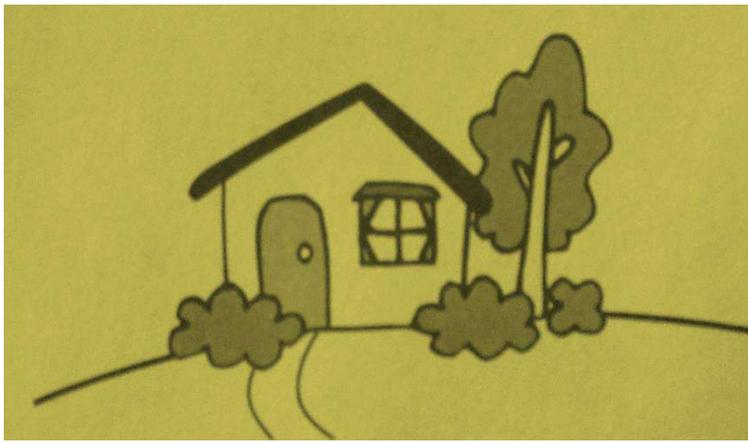


# ひだまり通信

Vol.26

発行:特定非営利活動法人ひだまり  
〒699-0202  
島根県松江市玉湯町湯町 1801-1  
Tel 0852-62-2550 Fax 0852-62-2550  
Email hidamari@polka.ocn.ne.jp



## ひだまりの改装がほぼ終わりました！



作業場に洗面所を設置



職員の机を移動し作業場が広くなりました！



休憩室では相談や話し合いを行います。



職員室がやっとできました。



ひだまりの改装がほぼ終わりました。この改装では作業場を広くすること、手洗い場を作りコロナ感染症を防いだり掃除のしやすさに重点を置きました。若干休憩室は狭くなりましたが、相談や少人数での会議は可能です。コロナが収束したら、きっと全員が一緒に作業できる環境が整ったと思います。

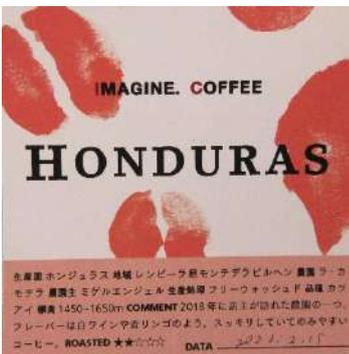
あとは職員室と休憩室の間にパーティションを入れれば完成です。



## 初任給をお渡ししました！

5月6日、4月の工賃を支給しました。今年の3月に緑が丘養護学校を卒業した T さんにとっては人生初の給料となります。これからひだまりでの仕事にも慣れてきたら、頑張った分だけ工賃も上がっていくと思うので、自分の好きな物が買えるようモチベーションを持って仕事に向き合ってほしいと思います。T さんのこれからの活躍に期待しています。

## コーヒーの日～ホンジュラスのコーヒーで入所祝い！



今回のコーヒーは新しく入所された伊達さんと T さんのお祝いという形で淹れました。ホンジュラスのコーヒーはとてもスッキリして飲みやすく苦みも少ないのでコーヒーの苦手な方にもおススメできます。浅煎りのコーヒーを飲む機会は少ないと思うので、フルーティな珍しい味わいを感じて頂きたくて、この豆を選びました。これからコーヒーの時間を楽しんでもらいたいと思います。(マスター)



## ひだまりってどんなところ？

その25



4月になり、ひだまりにも2名の新人が通所を開始されました。これでひだまりの利用者は17名となります。だいぶ人数も増え賑やかになってきました。ただ新型コロナの関係上まだまだ全員と一緒に仕事をするにはもう少しかかりそうです。

さて、今回は「感覚」についてお話ししましょう。皆さんは人間にはどんな感覚があるか言えますか？五感とよく言われますね。「聴覚」「視覚」「味覚」「触覚」「臭覚」がそれにあたります。ところがもう2つ感覚があるのをご存じですか？それは「固有感覚」と「前庭感覚」呼ばれるものです。「固有感覚」は筋肉を動かす動作の感覚で、力をどのくらい入れればいいのか調整するものです。一方「前庭感覚」は人体のバランスを取る感覚で耳の奥の方の器官で調節しています。こうした感覚で人体は成り立っているのですが障がいがある人の中には「感覚過敏」というものが生じることがあります。つまり極端な感覚の過敏がある事を指します。例えば触覚に過敏のある人は服の触感がいやで服を着せても脱いでしまう人がいます。聴覚過敏があると周りの音がすごく大きく聞こえてしまうため耳栓やイヤーマフ(ヘッドホンみたいな遮音具)を使う人もいます。前庭感覚が敏感ですとダウン症の人に多いのですが高いところが怖かったりエスカレーターに乗るのがうまくできなったり、ジェットコースターなど怖がられます。重度の方だと自分の立っている高さが怖くてすぐにしゃがみ込む人もいます。その反対に「感覚鈍麻」というものがあります。字の通り「感覚が鈍い」ことです。痛みをあまり感じなかったり、高いところが怖くないなど症状が出てきます。これらは「感覚あそび」を子供のころから体験することで改善されます。また感覚遊びについてもお話ししたいと思います。